京都市と共に新たなソリューションの社会実装を目指しませんか？

京都市
CITY OF KYOTO

公民連携プラットフォーム

KYOTO CITY OPEN LABO

民間事業者からの提案を募集！

民間事業者の皆様から様々な課題解決に資する提案を受け付け、京都市と民間事業者が
互いの資源を持ち寄り新たなサービスの創出にトライアルする仕組みです。
「効果的な課題解決・市民サービスの向上」と「新たな市場の開拓や事業機会の創出」を目指します。

KYOTO CITY OPEN LABO のフロー

民間事業者の皆様からの提案を基に、社会実装に向けて京都市が共に実証実験や具体的実践にトライアル

START
民間事業者
※所在地・規模は問いません

市が設定した課題に対して提案
［ テーマ型 ］

募集テーマは
「KYOTO CITY OPEN LABO」
HPに掲載

KYOTO CITY OPEN LABO

課題を自由に設定して提案
［ フリー型 ］

担当部署との調整＆対話
目標や官民のメリットを共有

民間事業者

技術・ノウハウ
アイディアを提供

民間事業者のメリット

新たなビジネスチャンスの獲得
市の資産や施設等を活用した実証
市のネットワークを活用した市場や顧客の開拓
市の広報チャンネルを活用したPR
公的活動を通じた企業価値の向上　など

京都市

実証フィールド
ネットワーク・データを提供

京都市のメリット

企業の技術や専門ノウハウを活用した
効果的な課題解決と市民サービスの向上
新たな発想・視点での課題解決
民間のビジネス活動を通じた課題解決　など

京都市のサポート（一例）

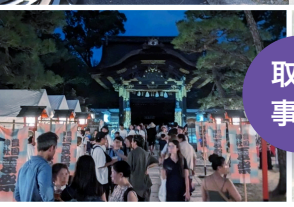
事業費用の一部支援／上限20万（テーマ型）
市の広報チャンネルでPR
市の資源（資産・施設・データ等）の活用
関係機関・大学・地域団体などへのつなぎ

連携成立
↓
実証実験・本格実施
↓
効果検証
↓
GOAL!
社会実装

企業主体で継続実施（ビジネスモデルを構築） or 本市サービスとして導入

京都市と民間事業者がお互いの“資源”を持ち寄ることで それぞれ単独では成しえなかったことを実現！

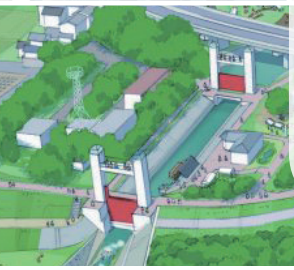
京都市をフィールドに先進技術の活用、新たなサービスの実証、新製品・コンテンツの開発、地域活性化、資産利活用など…様々なテーマ・分野で取組が広がっています



取組事例

- ふるさと納税制度を活用した持続可能な観光
- 電気自動車（ＥＶ）の利用環境整備
- 災害用備蓄物資の効率的な管理運用
- 放置竹林を活用した製品・サービスの開発
- 家具・家電のサブスクリプションサービスの実証
- 子育て応援の新事業・サービストライアル
- 歴史的建造物をフックにした文化観光コンテンツの造成
- 地下鉄の利用誘導と手ぶら観光の新たなサービス実証
- 森林情報を簡易に取得するアプリの試験実施
- 高齢者がペットと安心して生活できるサービス実証
- 学生向け自転車マナーコンテンツの作成
- 先進技術を活用した美術館の館内案内の実証
- 副業・兼業による企業間の担い手交流プログラム
- 健康づくりのデジタルプラットフォームの実証
- ニュータウンのコミュニティ活性化
- デジタルとリアルを融合した謎解きイベント
- 既存建築物のＺＥＢ化実証
- 市庁舎の利活用
- 密集市街地の防災性の向上
- 歴史的建造物のデジタルデータ化
- 企業と連携した公園運営モデルの実証
- お試し居住プログラムの実施
- 「ナッジ」を活用した違法な客待ちタクシーの削減
- 「点字触地図・音声ペン」の開発
- インターネットを活用した意見募集スキームの実証
- ＡＩメンタルケアアプリの開発　など

実証実験を経て社会実装した取組も多く生まれています！



課題解決を通じて新たな市場を開拓！

まずはお気軽にご相談ください！

提案窓口

■ 京都市総合企画局総合政策室
■ KYOTO CITY OPEN LABO　HP：https://open-labo.city.kyoto.lg.jp/
■ E-mail：open-labo@city.kyoto.lg.jp
■ TEL：075-222-3178

京都市 公民連携